

大本営旧海軍部壕を見学に

塚田 修（9組）

10月31日（火）、柄沢則夫君、土屋啓郎君、緑川英貞君、柳沢英明君、増澤賢一君（いずれも9組）と増澤君の奥様、旧姓小林啓子さん（4組）、それに私の計7名で土屋光男君（9組、千曲市在住）の案内で長野市安茂里の大本営海軍部壕を見学しました。

9月の姨捨の棚田見学に続く地元9組主体の見学会となります。

昭和の安茂里を語り継ぐ会の事務局長を務める光男君の説明によると、太平洋戦争末期に日本の敗戦が見えて来ると大本営を移そうということになり、まず陸軍が松代に大本営を作ると海軍も遅れまいとして安茂里に大本営を作り始めたということです。当時海軍は開戦反対の立場をとっていましたが、安茂里に大本営を作り始めたということからすれば海軍も戦争に反対ではなかったということになり、これまでの定説が覆ることになるという興味深い話をしてくれました。

見学の後、壕の手前にある資料館で飲みながら食べながら、高校時代の思い出や70歳代後半に入ってきたお互いの人生観などを語り合っで見学会を終えました。



資料館で土屋光男君（右）の説明を聞く

土屋光男君の隣の黄色ジャンパーは壕の土地所有者で光男君の同志岡村さんご夫妻



土屋君の案内で塚の内部を見学



前列左から塚田修、土屋啓郎、増澤賢一、増澤啓子、柄沢則夫、
後列左から岡村さん、土屋光男、緑川英貞、柳沢英明

(23年11月13日記)

以上